

平成24年(2012年)2月14日(火曜日)

東

地域 東 (22)

震災で県内避難の10家族



東日本大震災で被災し、県内に避難している10家族39人が11、12日、県東部を訪れ、心身をリフレッシュする1泊2日のツアーを楽しんだ。富士山麓の水ヶ塚の雪遊びや三島市内の水辺散策では、子どもたちが大はしゃぎし、笑顔を見せた。

県東部でリフレッシュ

GW三島 散策などに笑顔

雷井戸の湧水に手を伸ばす子どもたち三島市南本町

三島市のNPO法人グラウンドワーク三島が昨年4月から継続している被災児童支援活動「心を元気にするシヨートツアー」の一環。県内の避難者を招くのは2回目で、福島、宮城両県から浜松、掛川、静岡など県内7市に避難している親子連れが参加した。

一行は富士サファリパークや御殿場市内の温泉施設を巡り、沼津市内のホテルに泊まった。12日は三島市中心部を流れる源兵衛川沿いを散策した。豊富な湧水量を誇る同市南本町の「雷井戸」では、子どもたちはポンプから伝う水に手を

伸ばして歓声を上げた。上流部では長靴を履いて川中に入り、生息する魚や植物を観察した。

福島県いわき市から3人の子どもを連れて静岡市内に避難している松井敦子さん(39)は「子どもたちはたくさん自然と触れ合ってくれ、とてもいい経験ができた。震災から1年近くたっても先が見えず不安だが、何とか前を向いていきたい」と話した。